

## 6 センターサイディング標準施工法

### 6-1 施工手順

#### 手順④ 胴縁の施工

##### <横張り、縦張り共通の施工ポイント>

- 開口部まわりに金属胴縁15を留め付けます。

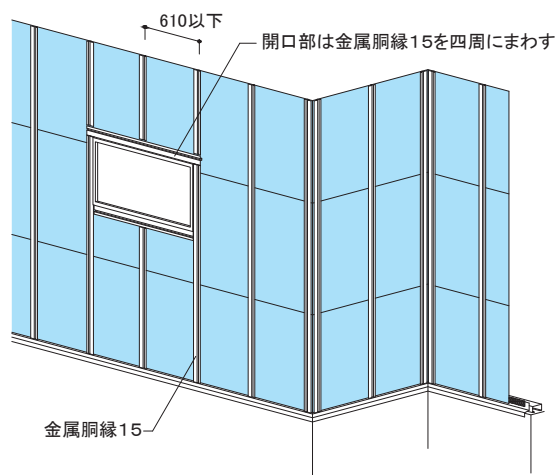
注)防耐火構造とする場合、金属胴縁15は使用できません。

##### <本体が横張りの場合の施工ポイント>

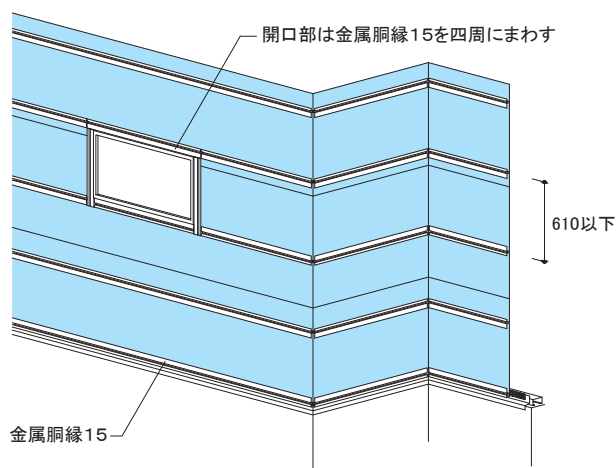
- 金属胴縁15は垂直方向に防水紙の上から鉄骨下地に留め付けます。
- 金属胴縁15の間隔は610mm以下とします。積雪地域や強風地域などは、金属胴縁15の留付間隔を狭めます。

##### <本体が縦張りの場合の施工ポイント>

- 金属胴縁15は水平方向に防水紙の上から鉄骨下地に留め付けます。
- 金属胴縁15の間隔は610mm以下とします。積雪地域や強風地域などは、金属胴縁15の留付間隔を狭めます。



<金属胴縁15を垂直に組む場合>



<金属胴縁15を水平に組む場合>

#### 手順⑤ 墨出し

- 本体の働き幅で墨出しを行います。

#### 手順⑥ 先付け付属部材の施工(S出隅鋼板受け18など)

- 出隅受け・S廻り縁受けなどの先付け付属部材は専用ビス3で金属胴縁15に留め付けます。
- 受けなどの先付け付属部材の継ぎ部分はカバー(後付け付属部材)の浮き上がり防止のため、十分に押さえて固定します。
- スターターは水準器などを用い、水平を確認します。
- 受けなどの先付け付属部材は、指定の部位に捨てシーリングを施工します。この際、捨てシーリングが浸入した水の排出を妨げないように注意してください。
- 中間水切18は下側の本体を施工後に取り付けます。取り付け後、上側のセンターサイディングを施工します。
- ケガ防止のため、付属品端部は板金加工を施します。
- ビス打ちミスによる孔は、防水のため必ずシーリングでふさいでください。(防水のため、ビス頭にもシーリングを施工します。)